



PTA会員のみなさま

笠縫学区

安全パトロール通信



笠小P発 号
令和 5年 6月 23日

笠縫小学校PTA
会 長 三反田 美希
地 域 部



この度、6月15日〆切の意見表明をもちまして 原案賛成可決により2学期より安全パトロールへ完全移行することが決議されました。今後は、学期毎に「笠縫学区 安全パトロール通信」を通して、皆様にパトロール実施報告やお知らせなどを発信させていただきます。

今まで
ありがとう
ございました!

これまで、約17年間にわたり実施されてきました「下校パトロール」は1学期をもちまして終了とさせていただきます。お仕事やご家庭の事情など様々な環境の中で、児童の安全を守るためにご理解とご協力をいただきました事を、書面上ではございますが、厚くお礼申し上げます。これからは、「笠縫学区 安全パトロール」へと活動の場を変えて、引き続き児童の安全を見守る活動を継続していきます。PTA活動を無理なく持続可能な活動とすべく、頑張りすぎないパトロールとして「いつでも・誰でも・手軽に参加」できる活動内容となっておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ご自由
お取りください
Take Free

安全パトロール証について・・・
・保護者証を携帯することが難しい
・保護者証を付けるのを忘れてしまう
・自転車に取り付けられるパトロール証が欲しい
などの声を数件いただいておりますことから、笠縫こども園で導入していただいております「自転車用パトロール証」をご自由にお持ち帰りいただけるように、正面玄関入ってすぐの机の上に新たに設置させていただきます。予備の安全パトロール証や運用の手引きも併せて設置させていただきますので、ご入り用の方はご活用ください。

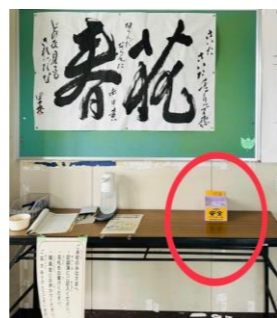
安全パトロール証



写真1



写真2



(装着例) 自転車の前カゴや、こども乗せの背面などに装着しご活用ください(装着用の結束バンド付き)

お知らせ

安全パトロール報告フォームについて・・・
今後も、無理のない範囲で可能な方は報告フォームへのご入力に継続してご協力いただきますようお願いいたします。フォームに寄せられた内容は、この通信によって学期毎に皆様へご報告させていただきます。なお、緊急性のある危険情報に関しては、これまで通り警察へご報告いただきますよう重ねてお願いいたします。

お知らせ



横断旗の設置について・・・

草津警察署のご協力により、横断旗290本を無償提供していただきましたことから、学区内の信号機のない横断歩道に11箇所、信号機はあるが交通量が学区内で最も多い野村中央交差点に4箇所の計15箇所に、横断旗を設置させていただくことになりました。横断歩道の対面にそれぞれ10本ずつ配置しております。登校や下校で旗が行き来することで旗が不足することのないよう10本ずつとさせていただきますが、朝の旗当番などで設置箇所を通過される際には、旗が片側に偏ってしまっていないかなどご確認いただきますようお願いいたします。(裏面に設置箇所一覧を掲載いたしました)

横断旗の使い方

- ①横断歩道の手前でとまる
- ②横断旗を1つ手にとり、『右・左・右』を確認
- ③横断旗を持った手を大きくあげて横断する
- ④渡り終えた先にある旗入れ缶に横断旗を持ち手を下にして入れる



おねがい

さいごに・・・

これまでPTA本部活動として、防犯指導や交通安全指導を実施し、児童自らが防犯対策や交通ルールを守り安全に生活できるような術を身につけられるようにと指導場面を設けてまいりました。しかし、これらを児童自らが身につける過程には、この先繰り返しご家庭でご指導いただくことが重要となります。引き続き、各ご家庭での防犯指導や交通安全指導にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

安全パトロールに関しての、ご意見・お問い合わせは右図のQRコードを読み取っていただき、フォームに従ってご入力ください。後日、PTA本部役員よりご返答させていただきます。よろしくお願いいたします。



横断旗の約束



- ①横断旗で遊みません!!大切に使いましょう!
- ②横断旗は使用後は横断歩道を渡った先にある旗入れ缶に持ち手を下にして入れましょう!!
- ③横断旗を違う場所へ持ち出しません!!

※横断旗の使い方と約束です!!ご家庭でも十分にご指導いただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

横断旗の設置に先駆け、6月12日に草津警察署のご協力のもと1~2年生を対象に交通安全教室を開催し、6月15日には朝学びの時間を活用し全校児童へPTAよりDVD学習として交通安全教室を実施しました。どちらの交通安全教室も、横断歩道の渡り方、信号機の見方、横断旗の使い方や見えない曲がり角の注意点など児童自身が命を守るための交通安全の知識を身につけるといった内容となっております。



裏面へ続く ▶▶▶